

あいち CST 事業における J-CST および S-CST 養成プログラムの展開

野々山清

名城大学教職センター

【キーワード】CST養成プログラム, 大学・大学院教育、現職教育、理科教育

1 CST養成プログラム

愛知教育大学、名城大学と愛知県教育委員会が連携協力して、大学・大学院教育としてのジュニア・コア・サイエンスティーチャー(J-CST)と現職教育としてのシニア・コア・サイエンスティーチャー(S-CST)の育成プログラムを開発し実施している。

(1) J-CST(初級)

名城大学理工学部及び農学部教職課程履修者を対象としたCST養成プログラムである。

J-CST(初級)修了条件は、次の3点である。

① 中学校理科教員免許取得に必要な授業科目を受講し、中学校理科教員免許を取得すること。

② J-CST(初級)選択科目を2単位以上修得すること。

選択科目：理科指導論、サイエンス・ボランティア入門Ⅰ・Ⅱ、探究活動入門Ⅰ・Ⅱ

③ 校外研修を5単位時間以上(1単位時間は90分)受講すること。

(2) J-CST(上級)

愛知教育大学大学院理科教育専攻の大学院生対象のCST養成プログラムである。理科教育に関する専門的な教育と研究を通して、小、中学校における理科の学習指導や教材研究、授業研究などに関する資質能力の育成を図っている。理科教育の理論面の強化とともに実践面での強化充実を図っている。

必修科目：理科カリキュラム論、理科教育方法論Ⅰ、理科授業研究特論Ⅰ、理科教材論Ⅰ、理科授業研究Ⅰ～Ⅳ

選択科目：理科教育史特論、理科教育方法論Ⅱ、理科授業研究特論Ⅱ、理科教育方法論演習、理科教材論Ⅱ、理科教育特論演習

(3) S-CST

市町村教育委員会から推薦された教員対象のCST養成プログラムである。提携1年目は拠点の構築やCSTの選定等の研修開始のための準備を行った。提携2年目からは、2年間で120時間相当の研修を受講しCSTに修了認定している。2年間で計画的に修了できるようにプログラムをA～Dの4区分に分けている。

① 研修A〔研修1年目〕

日数：5日間(県総合教育センター)

内容：講義、実験・観察実習、教材開発等

② 研修B〔研修1年目〕

日数：6日間(所属校で1日3時間)

内容：授業実践、研究授業(所員訪問)等

③ 研修C〔研修2年目〕

日数：8日間(県総合教育センター他)

内容：論文作成、研修の運営、研究授業等

④ 研修D〔研修1・2年目〕

日数：3回以上(科学館等)

内容：科学館研修、フィールドワーク等

2 大学と教育委員会が連携した養成

① J-CST 養成授業の一部で愛知県教育センター所員及びS-CST受講者が講師となった。また、愛知教育大学理科教育講座教員および名城大学教員が、S-CST 養成研修の一部を担当した。

② S-CST 養成研修を愛知県教育センターだけでなく、愛知教育大学および名城大学を会場として実施した。

③ S-CST 養成研修にJ-CST受講学生が参加し、現職教員から学んだ。

④ S-CST受講現職教員とJ-CST受講学生が合同で、フィールドワークに参加し、一緒に研修するとともに、交流を深めた。

3 修了者数と進路

(1) 修了者数

平成23年度修了者は、J-CST(上級)2名であった。平成24年度修了者は、S-CST16名、J-CST(上級)3名、J-CST(初級)18名であった。

(2) J-CST修了者の進路

① J-CST(初級)修了者の進路

平成24年度修了者18名中12名が中学校理科教員になった。正規採用5名(愛知県3名、名古屋市2名)、講師7名(愛知県5名、名古屋市1名、岐阜県1名)である。

② J-CST(上級)修了者の進路

平成23年修了者2名(1名は県内高等学校に採用、他の1名はCST教育委員会以外の地域に小学校教員として採用された)。

平成24年度修了者3名のうち、愛知県内の中学校へ1名、小学校へ2名採用された。